

ミニ研究集会プログラム

「大気－海洋境界層における大気物質の役割－現場観測の視点から」

主催：日本エアロゾル学会「海洋大気エアロゾル研究会」

共催：東京理科大学総合研究院大気科学研究部門

日時：2019年1月23日（水）13:00～17:40

場所：東京理科大学 森戸記念館 第一会議室(2F)および第一フォーラム(B1)（新宿区神楽坂4-2-2）

受付 12:30～13:00（ポスター発表者はなるべく早めに受付）

1. 趣旨説明 13:00～13:10 竹谷 文一（海洋研究開発機構）

2. 講演 13:10～15:45 第一フォーラム(B1)

講演時間	タイトル	発表者	所属
座長：中村 篤博(香川高等専門学校)			
13:10	～ 13:55	大気中の硝酸とアンモニアは洋上をどこまで運ばれるか？	長田和雄 名古屋大学
(休憩)			
14:00	～ 14:45	Give me several tankers of aerosol and I'll give you an Ice Age	本多牧生 海洋研究開発機構
(休憩)			
14:50	～ 15:35	海洋における微量気体成分研究における現場観測の必要性と観測技術の進歩	亀山宗彦 北海道大学
15:50	～ 17:30	ポスター発表*・情報交換会	

*ポスター発表は15:50～16:40奇数番号16:40～17:30偶数番号が中心，ポスターボードは縦長A0相当

3. まとめ 17:30～17:40 岩本 洋子（広島大学）

片付け・移動

懇親会 18:00～20:00

(会費4,000円，学生1000円)

会場：理窓会倶楽部

東京都新宿区神楽坂2-6-1 PORTA神楽坂6階

TEL:03-3269-1570

ポスター発表一覧(第一会議室(2F))

番号	タイトル	発表者	所属
P1	窒素沈着が全球の海洋生態系・物質循環へ与える影響: 地球システムモデルを用いた予備的実験の結果	山本彬友	海洋研究開発機構
P2	亜熱帯外洋域の有機物生産を支えるリン源の特定	橋濱史典	東京海洋大学
P3	インド洋熱帯域の一次生産に及ぼす降雨の影響	松本和彦	海洋研究開発機構
P4	生物に利用可能な鉄の濃度を推定するための実験法開発	杉江恒二	海洋研究開発機構
P5	アジア域地表O3濃度過大評価における洋上消失過程の有用性の検討	新谷創磨	神戸大学
P6	「みらい」での海洋大気組成観測データを用いたIMPACTモデル評価	伊藤彰記	海洋研究開発機構
P7	鉄安定同位体比に基づくエアロゾル中人為起源鉄の海洋表層への寄与の推定	栗栖美菜子	東京大学
P8	海洋低次生態系モデルを使った大気窒素沈着による海洋一次生産へのインパクト	野口真希	海洋研究開発機構
P9	南極海上の大気にも浮かぶ黒い微粒子	上田紗也子	名古屋大学
P10	石英粒子のカソードルミネッセンス分析に基づく海洋への碎屑粒子輸送プロセスの検証	長島佳菜	海洋研究開発機構
P11	KH-17-5 Leg. 2で観測されたエアロゾルの光学特性	桃井裕広	東京理科大学
P12	KH-17-5 Leg. 2で観測された気柱全体のエアロゾルの光学特性	桃井裕広	東京理科大学
P13	みらいライダーによる海上大気観測の評価	谷口京子	海洋研究開発機構
P14	CPSゾンデにより観測された初冬の北極で発生する雲の特徴	佐藤和敏	北見工業大学
P15	Black carbon in snowpack over the different regions in the Arctic	森 樹大	東京理科大学
P16	数値計算を利用したアジア大陸から高緯度へのブラックカーボン長距離輸送: みらい北極航海(MR1503航海)時の解析	山地一代	神戸大学
P17	Properties of aerosol particles originated from Siberian Forest Fires over the Western North Pacific Ocean	吉末百花	東京理科大学
P18	シーロメータで測定された雲底下の後方散乱強度と海面水温前線	川合義美	海洋研究開発機構
P19	石川県九十九湾で採取した海表面マイクロ層の氷核特性評価	岩田歩	慶応義塾大学
P20	海表面マイクロレイヤーとエアロゾルの微生物動態解析 (予察報告)	濱崎恒二	東京大学
P21	北太平洋域における春季ブルーム黎明期の海洋大気エアロゾルの雲凝結核活性・粒径分布	川名華織	海洋研究開発機構
P22	北極圏の海洋および陸域の上空での氷晶核の調査研究	當房豊	国立極地研究所
P23	練習船深江丸で観測された瀬戸内海周辺地域におけるPM2.5の空間的・時間的変化	川本雄大	神戸大学
P24	瀬戸内海域における大気汚染の要因解明に向けて	中村 篤博	香川高等専門学校
P25	北極海、ベーリング海、西部北太平洋上における大気蛍光性粒子測定	竹谷文一	海洋研究開発機構
P26	アジア大気窒素化合物沈着が西部北太平洋の海洋低次生態系へ与える影響	竹谷文一	海洋研究開発機構
P27	船舶搭載型MAX-DOAS 法による外洋上の一酸化ヨウ素 (IO) ラジカルの時空間変動	竹谷文一	海洋研究開発機構
P28	Factors determining the longitudinal distribution of biogenic sulfur compounds in aerosols over the subarctic North Pacific	岩本洋子	広島大学
P29	白鳳丸KH-18-6 Leg2航海における東部インド洋海洋大気観測の速報結果	岩本 洋子	広島大学